

令和元年度 大阪府立摂津支援学校 第1回 学校運営協議会 実施報告書

1. 日 時 令和元年7月18日(木) 10:00~12:00

2. 場 所 本校 会議室〔中高等部棟2階〕

3. 出席者 〈学校協議会委員〉

西野 陽一(大阪工業大学) 大矢 優子(摂津市教育委員会)

松元 広美(ダイキンサンライズ摂津)

熊谷 達也(茨木・摂津障害者就業・生活支援センター)

中井 啓夫(高槻市柱本自治会) 横路 優香(本校 PTA 役員)

〈摂津支援学校教員〉

校長(藤井) 教頭(南・野崎) 事務長(洲本) 首席(中島・小野)

首席兼教務部長(坂部) 首席兼高等部主事(三牧) 部主事(落合・平水)

〈傍聴者〉 2名(本校保護者)

4. 年間テーマ及び協議事項 「明日も行きたくなる学校」をめざして

主な内容 ①今年度の学校経営計画について ②各学部の授業見学

③今年度の使用教科書採択と次年度の選定について

5. 説明・質問・協議内容等

(1) はじめに [進行:首席] [記録:首席] ※高等部3年生(職業コース)が接客

・配付資料確認

・大阪府立摂津支援学校 学校運営協議会実施要項の変更点(第10条2)の説明

・校長あいさつ

4月より赴任した。前任は藤井寺支援で、肢体不自由校での経験が長い。この学校には、支援教育課学校整備グループとして、建設計画や開校準備に携わってきた。教員としては最後の2年となるので、このような縁のあるこの学校で役割を果たしたいと考えている。

本日は、1学期の振り返りや授業見学を予定している。感じたことを率直にご意見いただき、2学期以降の学校運営に生かしていきたい。

今年度は非常に臨時休校の多い1学期だった。天皇陛下の即位に伴いGWが10日あったことに加え、千里山で発生した事件、G20サミットでの2日間の休校、先日の工場の爆発事故があり、保護者にもご迷惑をおかけした。授業は時間割変更も行いながら時間数を確保している。

本日はよろしくお願ひします。

・学校協議会委員及び事務局の紹介

(2) 学校より報告および協議 [進行：会長]

・会長よりあいさつ

委員の任期は2年と規定があるが、役職についての規定はない。今年度の会長、副会長について、昨年度より継続でよいかを確認したい。⇒全員承認。

①今年度の学校経営計画について

[校長] 学校経営計画そのものは昨年度末の協議会で承認を得ているものであり、特に変更した点はない。そのため、1学期の振り返りもしながら話をさせていただく。(以下、パワーポイント使用のため、内容については抜粋)

めざす学校像の3本柱を学校経営の観点から考えて、中期的目標としては【1. 安心・安全の教育を進める学校】【2. 子どもにとって「いい授業」を追求する学校】【3. 地域で学び、地域とともに育つ学校】【4. 組織力の向上】の4点を挙げている。

本校の在籍児童生徒数の変化については、今は300人前後で高止まり状態である。高等部が横ばいから若干減少傾向にあるのに対し、小・中学部が増加している。教室転用を繰り返しているが、そろそろいっぱいになってきている。大阪府全体でも知的の支援学校は増加傾向にあり、新たに2校を新設という話も出ているが、具体的な場所等はまだ決まっていない。

【1. 安心・安全の教育を進める学校】について

- ①医ケア（＝医療的ケア）を必要とする児童生徒への対応⇒4月より、特配委員会（＝特別な配慮を要する児童生徒についての対応検討委員会）に医ケア対策委員会の機能を付与
- ②食物アレルギーのある児童生徒への対応⇒アレルギー対応委員会を特配委員会が兼ねる形で設置（6月職員会議にて提案、7月より発足）
- ③危機管理体制の構築（防災、減災）⇒休日の連絡体制、9月引きつぎ訓練の実施予定
- ④要保護児童生徒（虐待・ネグレクト）への対応
- ⑤いじめ・体罰等人権事象への対応

【2. 子どもにとって「いい授業」を追求する学校】について

- ①「摂津支援学校授業スタンダード」を5月職員会議で周知。スタンダードの内容は、当たり前と思うようなことだが、若くて経験の浅い教員も多いため、作成している。
- ②教育課程、「シラバス」の検討
大阪府の統一様式が設定された。来年度に向けて作成中。
- ③専門性向上へ向けての自己研鑽
支援学校教員免許取得についても促進している。（認定講習等）

【3. 地域で学び地域とともに育つ学校】について

- ①摂津市行事への参加⇒こどもフェスティバル、淀川わいわいガヤガヤ祭等
- ②職場体験実習の実施⇒高等部だけでなく、中学部3年生でも実施しているのは珍しい。
地域に受け入れてくれる実習先があるからこそ実施できている。
- ③交流教育⇒居住地校交流の増加

④地域のセンター的役割⇒巡回相談・講師依頼が大変増えている。

【4. 組織力の向上】について

本校の現状：若く経験の浅い教員集団である。平均年齢 38 歳。女性が 7 割を占める。講師比率が大変高い。

本校の課題：①危機管理体制、②働き方改革（1 学期の実績として昨年度より残業時間は減少）、③次世代リーダーの育成（教育庁の育成支援事業の活用を予定）、④保護者の皆さんとの協力関係構築（PTA 活動の活発化）

[委員] 学校経営計画については、前年度の最終回で承認したもの。校長が変わったので、変更点がないかどうかは確認済み。

* 質疑応答⇒特になし

②授業見学（45 分間）

・ 中学部 1 年生道徳→高等部 2 年美術→小学部 3・6 年生きょうだい学年交流→中学部 3 年生プール学習→高等部 3 年生学年喫茶（途中、先日の爆発火災の被害状況も確認）

* 授業見学についての質疑応答

[委員] 感想になるが、道徳のお誕生会は非常に盛り上がっていて良かった。

高等部の美術は、コース別でなく学年での授業か？

[教員] 美術は生活コース、職業コースの合同授業である。他に音楽や体育は学年合同授業である。座学やワークについてはコースごとに授業を展開している。

[委員] お誕生会などで、自分たちで企画し進めていくことが自主性にもつながっていくと思う。プールは、いろんな苦勞をされていると思うが、しっかり安全確保がされていた。

[委員] 授業を見学して、先生の知識・技能がいかに大切かを感じた。またそれらに加えて、情熱も必要である。その分、先生方のストレスも大きいのではないか。ストレスのケアも大切にしてほしい。

[校長] 3 年ほど前より、業者を通したストレスチェックを実施している。ストレスが高いという結果が出た場合には、産業医や専門機関の紹介をしている。

[委員] きょうだい学年の設定は、決まっているものなのか。

[教員] 学校でグループが決まっている。今回は、小学部内の交流だったが、グループ内の中学部や高等部の学年との交流も行っている。

[委員] 交流の後、廊下で声を掛け合うようなことはあるのか？

[教員] 子どもによっては、そういう姿も見られる。

[委員] プール学習の待機時の暑さについて、今年はまだそんなに暑くないが、工夫をしてほしい。

③今年度の使用教科書採択と次年度選定について

[教員]（学校要覧と学校教育計画について説明。）表紙の元号表記の違いは、作成時期の違いによるものである。

[教科書担当者]（資料⑨に基づき、今年度の教科書や来年度採択予定の教科書紹介。一部について、

現物を展示。小学部は道徳・音楽、中学部は道徳の教科書について説明。)

高等部は来年度より、「特別の教科道徳」が始まる。カリキュラムの検討中なので、選定としては、現在の教育課程上設定している「キャリアガイダンス」の枠で採択している。他には、国語で敬語に関する教科書や高3の生活コースの情報英語が始まるので、その教科書を選定している。また、委託の「はたらくきほん 100 毎日がスタートアップ」という本は働くモチベーションを上げていくためや卒業後行き詰まった時に参考にできるようにという観点からも選定している。

*質疑応答

[委員] 教科書は実際に授業で使われているか。

[教科書担当者] 教科書は教材の1つとして使っている。使用頻度は学部・学年・グループによって異なる。

[委員] 同じ教科書を持って、授業を進めることはあるのか。

[教科書担当者] そういう授業もある。

[委員] 学校要覧と教育計画の元号の使い分けの説明で、4月作成とあったものに在籍者数一覧表には、5月1日現在の表記があるのはおかしいのではないか。見込みや予測という表記の方がよいのでは？

[教員] 指摘されると確におかしいが、差し替え等もあった。正しい表記に努める。

[校長] 今年度の元号の取り扱いについては、教育庁からの指示も度々変更になったという経緯もある。

(3) まとめ [進行：首席]

・会長より

ご協議ありがとうございました。

・校長より

本日はありがとうございました。今回いただいたご意見を今後の学校運営に生かしていきたい。

(4) 事務局より諸連絡

・次回の日程について、学校としては11月1日(金) 10:00~12:00で提案したい。

都合が悪ければ連絡がほしい。不都合の連絡がなければ、9月頃に改めて案内を送る。

【配付資料一覧】

- ①次第 ②学校運営協議会運営計画 ③学校運営協議会実施要項 ④学校運営協議会名簿
- ⑤保護者意見書 ⑥傍聴規則 ⑦学校経営計画 ⑧授業見学資料 ⑨使用教科書一覧
- ⑩学校要覧 ⑪学校教育計画

【展示】

- ・令和元年度使用教科書(一部)
- ・令和元年度選定教科書(一部)